## ①基本情報

地区No	8
地区名	西野町小学校

### ●地区の概況

市北側に位置し、北側は矢作川左岸となってい る。地区の多くを占める段丘上には宅地が散在 し、谷底・氾濫平野は農地として利用されてい る。県道西尾新川港線、県道蒲郡碧南線が幹 線道路となっている。

#### ●人口の状況 ※令和2年国勢調査より

世帯数	2116 世帯
65歳未満	4271 人 73.5 %
65歳以上	1512 人 26.0 %
合計	5813 人

※合計値は年齢不詳の人口も含む

#### ●地区の課題

矢作川左岸の平野部では、洪水及び高潮によ る浸水の危険性が高い。

地震時は、北西部において液状化の危険性が 極めて高く、商業施設が集中している南東部に おいても液状化の危険性が高い。また、住宅密 集地では、避難路の閉塞が起こりやすい。

#### ●凡例

- ◯ 指定緊急避難場所• 学校
- 指定避難所 ■ 幼稚園・保育園等
- 津波一時待避所
- 福祉避難所
- ◎ 市役所·支所等
- 警察署等
- ■消防署等
- 救急病院
- ◆水位観測所
- ▲ 衛生施設 ● その他の施設

▲ 水防倉庫

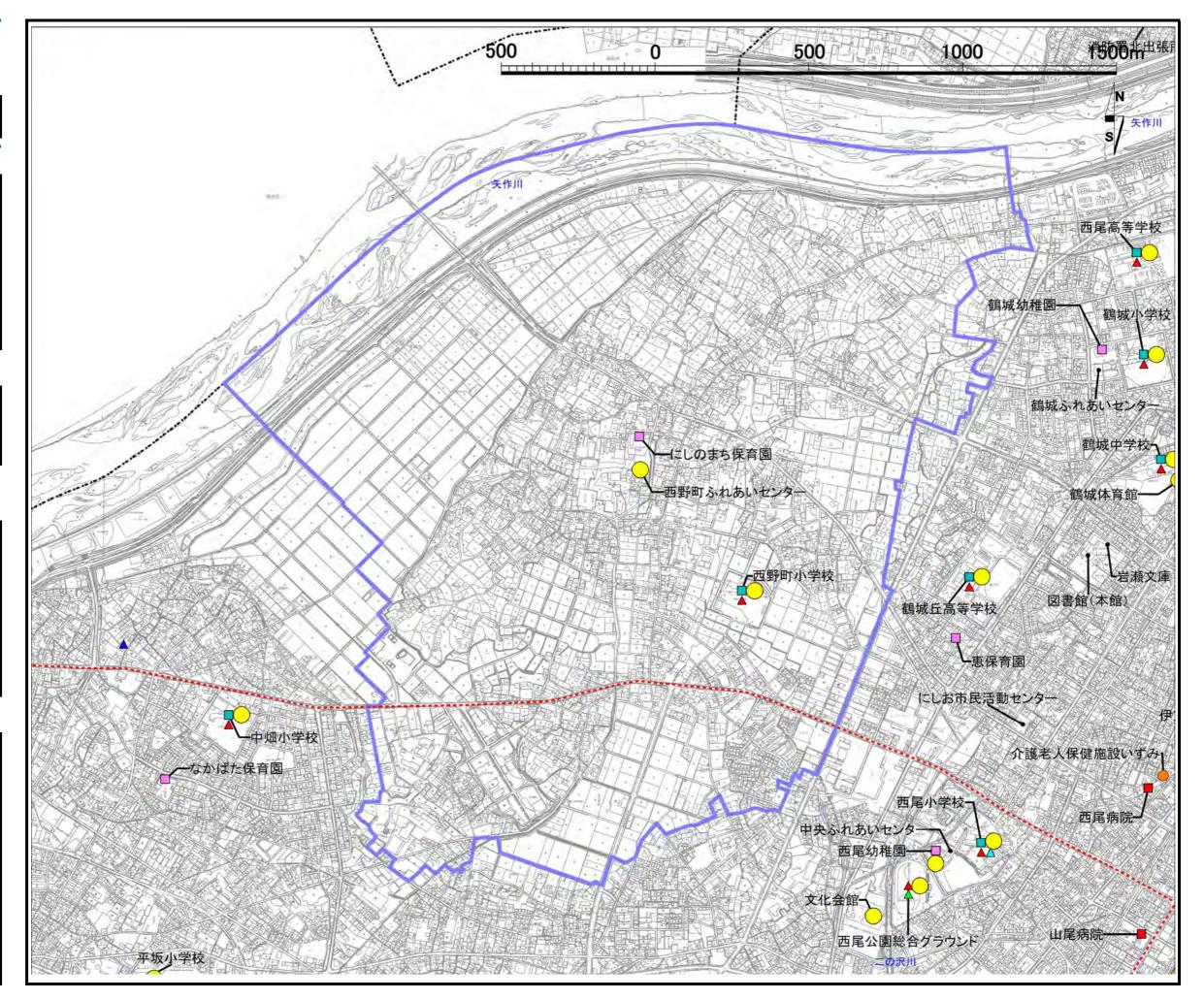
▲ 防災活動拠点

- ◆雨量観測所
- 小学校区界 -·-·- 市町村界
- **─**───── 鉄道
- ---- 緊急輸送道路

▲ 防災倉庫·防災資機材庫·

△ 飲料水兼用耐震性貯水槽

その他備蓄倉庫等



## ②洪水被害•土砂災害

地区No	8
地区名	西野町小学校

### ●地区別大雨等被害の特性

矢作川左岸の平野部や複数の工場がある南部 を中心に最大で5m以上10m未満の浸水が想定 されている。

地区内にある2箇所の指定避難所はいずれも 浸水想定区域外にあるが、西野町小学校の周 辺は浸水想定区域となっている。

#### ●避難環境評価

避難所収容者数	6235 人
避難者数	5813 人
最長避難距離	約 2.0 km

#### ※避難所収容者数は洪水時のみの人数

#### ●最大浸水深

対象全河川(重ね合せ)	5m以上10m未満
矢作川	5m以上10m未満
矢作古川・広田川・須美川・安藤川	範囲外
朝鮮川	範囲外
矢崎川	範囲外
北浜川・二の沢川	1m以上3m未満
<b>기</b>	範囲外
鳥羽川	範囲外
八幡川	範囲外

### ●土砂災害リスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)	0	箇所
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	0	箇所
土砂災害警戒区域(土石流)	0	箇所
土砂災害特別警戒区域(土石流)	0	箇所
土砂災害警戒区域(地すべり)	0	箇所

## ●凡例

● 指定緊急避難場所・■ 学校 指定避難所

■ 幼稚園・保育園等

(洪水・土砂時使用可) ○ 福祉避難所

▲ 防災倉庫·防災資機材庫· その他備蓄倉庫等

◎ 市役所·支所等

▲ 水防倉庫 ▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽

■ 警察署等 ■消防署等

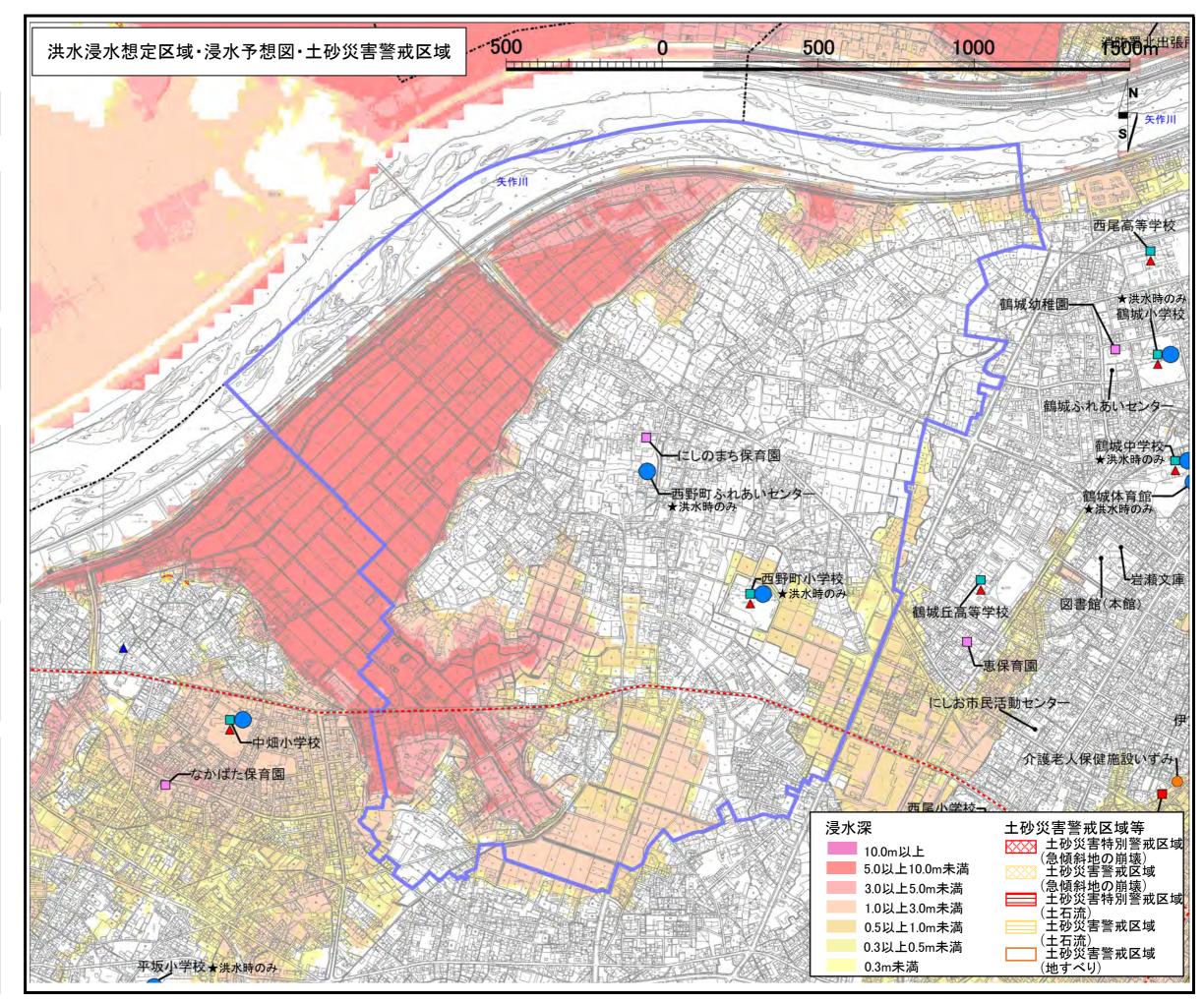
▲ 防災活動拠点

■ 救急病院 ◇水位観測所 ▲ 衛生施設 ● その他の施設

◆雨量観測所

- 小学校区界 -·-·- 市町村界 **─**──── 鉄道

--- 緊急輸送道路



## ③地震被害

地区No	8
地区名	西野町小学校

### ●地区別地震被害の特性

過去地震最大モデルでは、ほぼ全域で震度6強 となる。(下図参照)

地区北西部の矢作川左岸や商業施設が集中し ている南東部において、液状化の危険性が極 めて高い。

●避難環境評価

※平成26年地震被害予測調査結果より

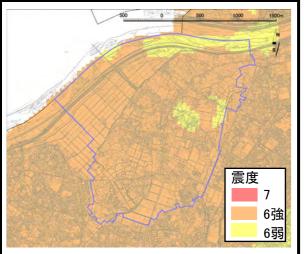
避難者数 ※津波による建物倒壊避難者も含む

1069 人

●被害想定 ※平成26年地震被害予測調査結果より

建物全壊数	219 棟
建物半壊数	372 棟
死者数	11 人
重傷者数	19 人

### ●過去地震最大モデル震度分布図



### ●凡例

● 指定緊急避難場所・■ 学校 指定避難所

■ 幼稚園・保育園等

(地震時使用可) ▲ 防災倉庫·防災資機材庫· ○ 福祉避難所 その他備蓄倉庫等

◎ 市役所·支所等 ▲ 水防倉庫 ■ 警察署等

▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽

■消防署等 ■ 救急病院 ▲ 防災活動拠点 ▲ 衛生施設

● その他の施設

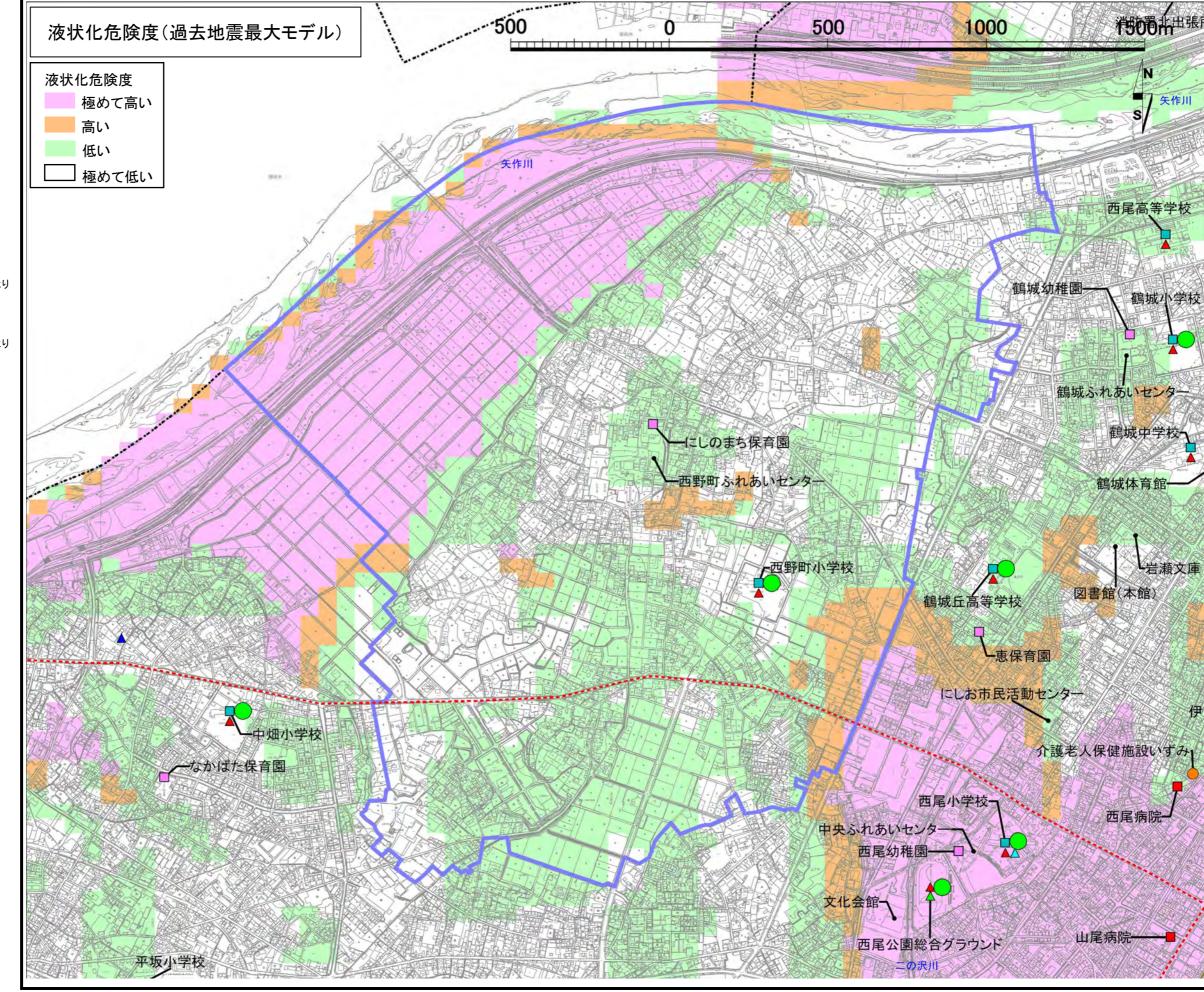
◆雨量観測所

◆水位観測所

小学校区界 -·-·- 市町村界

**─**───── 鉄道

---- 緊急輸送道路



## 4津波被害

地区No	8
地区名	西野町小学校

### ●地区別津波被害の特性

海岸から遠く、地区内に浸水想定区域がないため、津波避難の必要性はないが、矢作川付近では津波の遡上が予想されるため、不用意に近づかないことが重要である。

## ●避難環境評価

津波一時待避所収容者数	0 人
避難所収容者数※1	1680 人
避難者数	- 人
津波浸水想定区域外までの距離※2	約 - km

※1津波被害における避難所収容者数は「命を守った後に 避難生活を送ること」を想定して算出している。

※2西尾市津波避難計画(令和5年4月修正)に記載された 校区のみ記載している。

#### ●津波浸水深

最大クラスの津波の基準水位	
最大津波水位     範囲外	
過去地震最大モデル(参考)	
最大津波浸水深	2m以上3m未満

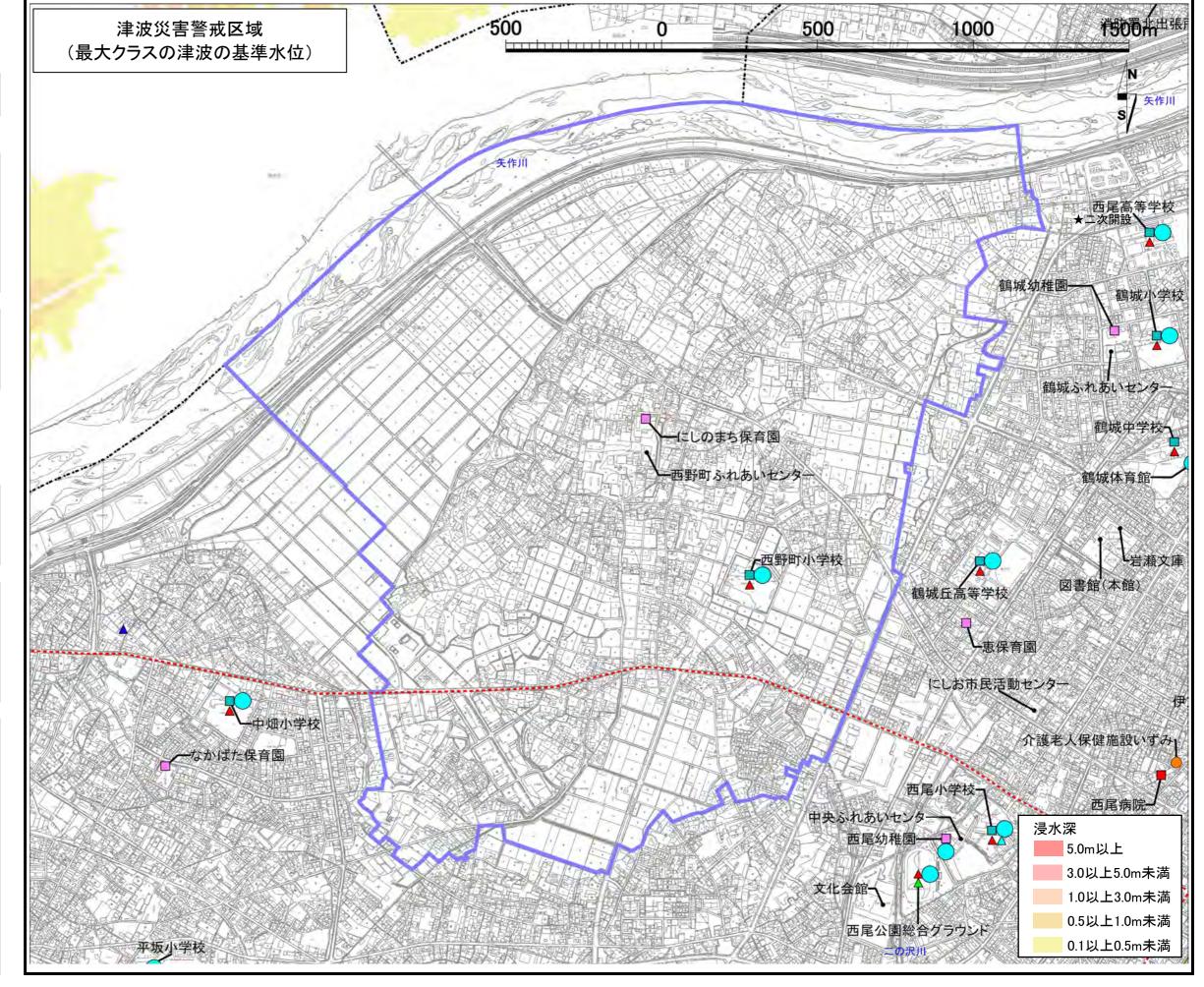
●津波発生時の避難先 避難目標:西野町小学校

避難目標:西野町小学校 (他校区からの避難目標)

#### ●凡例

1 指定緊急避難場所・□ 学校 指定避難所 □ 4#

- 指定避難所 ■ 幼稚園・保育園等 (津波時使用可) 津波一時待避所 ▲ 防災倉庫·防災資機材庫· その他備蓄倉庫等 ○ 福祉避難所 ▲ 水防倉庫 ◎ 市役所•支所等 ▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽 ■ 警察署等 ▲ 防災活動拠点 ■消防署等 ▲ 衛生施設 ■ 救急病院 ● その他の施設 ◆水位観測所 ◆雨量観測所



## 5高潮被害

地区No	8
地区名	西野町小学校

### ●地区別高潮被害の特性

主に、地区北西部の矢作川左岸が浸水想定区 域となっているほか、地区南部の工場がある地 域や指定避難所である西野町小学校の南東部 の一部で浸水が想定されている。

#### ●避難環境評価

避難所収容者数	6235 人
避難者数	5813 人
最長避難距離	約 2.0 km

### ●高潮浸水深

最大高潮浸水深	5m以上10m未満

#### ●凡例

● 指定緊急避難場所・■ 学校

指定避難所 ■ 幼稚園・保育園等 (高潮時使用可)

○ 福祉避難所

▲ 防災倉庫·防災資機材庫· その他備蓄倉庫等

◎ 市役所·支所等

▲ 水防倉庫

■ 警察署等

△ 飲料水兼用耐震性貯水槽

■ 消防署等 ■ 救急病院

▲ 防災活動拠点 ▲ 衛生施設

◆水位観測所

● その他の施設

◆雨量観測所

小学校区界 -·-·- 市町村界

**─**□□ 鉄道

---- 緊急輸送道路

